社会・企業にとって持続可能で、魅力的なソーシャルプロダクツを開発し普及する

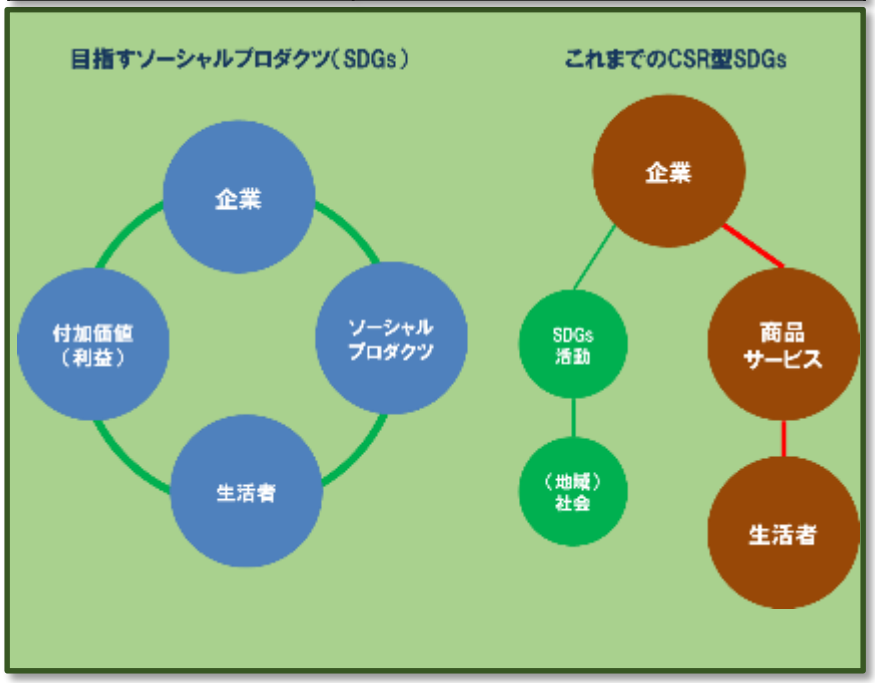
分科会提案者：一般社団法人ソーシャルプロダクツ普及推進協会（APSP）

分科会の目的	社会・企業にとって持続可能で、生活者には魅力的なソーシャルプロダクツ※を開発し普及させることで、企業のSDGsへの取り組みが本業化し、事業に付加価値を与える好循環をつくる。 ※「ソーシャルプロダクツ」とは、以下に挙げた事項などに関連する人や地球にやさしい商品・サービスの総称で、購入者がよりよい社会づくりに関する行動や団体と繋がる事が出来るものを指します。 ・環境配慮　・オーガニック　・フェアトレード　・寄付（売上の一部を通じた寄付） ・地域の活力の向上　・伝統の継承・保存　・障がい者支援　・復興支援、など
解決したい課題	・企業のSDGsへの取り組みが、CSRの延長上から本業化 ・ソーシャルプロダクツの開発が、企業や商品に付加価値を提供する仕組みと仕掛け ・生活者が適正なソーシャルプロダクツを選択できる仕組みづくり

分科会での活動内容 及び 期待される成果

活動①：ソーシャルプロダクツ 勉強会
先行商品を出している企業担当者を講師にセミナー（年度内4回予定）
活動②：ソーシャルプロダクツ 視察・研究会（年度内2回予定）
活動③：メンバーへの会報誌（メルマガ）
優秀なソーシャルプロダクツを表彰・展示（年度内１回予定）

成果

これまでのようにCSRや広報としてSDGsに取り組むのではなく、
商品・サービスなど、事業そのものとして取り組むことで、企業が持続的に取り組めるようにする。

関連するゴール